FUYO LEASE GROUP

2024年10月1日

News Release

芙蓉総合リース株式会社
（コード番号：8424 東証プライム）
代表取締役社長 織田 寛明

芙蓉オートリース株式会社
代表取締役社長 長野 克宣

自動運転レベル4対応のEVバス導入について

～自動運転レベル3およびレベル4車両の2台運用により、自動運転導入支援を強化～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田 寛明、以下「芙蓉リース」）および芙蓉オートリース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 長野 克宣、以下「芙蓉オートリース」）は、Navya Mobility SAS（以下「Navya」）社製の自動運転レベル4[※1]・EVバス「EVO」（以下、本車両）を導入いたしました。本車両は、株式会社マクニカ（神奈川県横浜市、代表取締役社長 原 一将、以下「マクニカ」）と共同で提供している“自動運転実証実験支援サービスプログラム”[※2]を中心に、日本各地での自動運転実証実験事業において使用される予定です。

現在日本では、少子高齢化や物流・運送業界におけるドライバーの労働時間制限による2024年問題等により、地域交通の維持や運送業におけるドライバー不足などの社会問題が顕在化しており、自動運転技術はこれらの課題を解決するソリューションとして期待されております。しかしながら、自動運転の導入には高度な専門技術と知識が不可欠であることに加え、高額な設備投資が必要となることが実装に向けた高い障壁となっています。芙蓉リースグループが保有する車両を実証実験などに提供し、より多くのお客様の導入サポートに取り組むことで、モビリティに係わる社会課題の解決に貢献してまいります。

本車両は、芙蓉リースグループとして2台目の自動運転車両の導入となります。2021年に導入した1台目の自動運転レベル3[※1]・EVバス「ARMA」（Navya社製）はこれまで15件の自動運転実証実験に活用されており、今後は「ARMA」と「EVO」の2台運用により、さらなる自動運転需要の拡大に対応してまいります。本車両は自動運転レベル4走行に対応可能であり、日本国内でも事例が少ないレベル4の自動運転サービスの実現にも寄与する狙いがあります。

芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しております。

パートナー企業と連携した“自動運転実証実験支援サービスプログラム”の提供により、技術導入のハードルを低減させることで、モビリティに係わる社会課題の解決、また国内の自動運転サービス技術向上に貢献してまいります。

尚、本車両を使用する実証実験第 1 号案件は沖縄県で予定されております。

●自動運転レベル 4・EV バスの概要



車両名称：EVO（エヴォ）
システム：レベル 4 自動運転システム（ハンドル・アクセル・ブレーキなし（セーフティ機能あり））
乗車定員：15 人（座席 11 人・立積 4 人）
最高速度：25km/h
推奨速度：20km/h 未満
スペック：EV（最大走行時間 9 時間、走行距離 100km）

※1　ODD（運行設計領域）に基づく走行環境条件を満たす場合に限ります。
「レベル 3 自動運転（条件付自動運転）」： 特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。ただし、自動運行装置の作動中、自動運行装置が正常に作動しないおそれがある場合においては、運転操作を促す警報が発せられるので、適切に応答しなければならない。
「レベル 4 自動運転（特定条件下における完全自動運転）」：特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。

※2　マクニカと芙蓉リースグループの強みを組み合わせることで、自動運転の実証実験における課題を解消し自治体や交通事業者などの取り組みを支援する包括的なサービスプログラム。詳細はこちらをご覧ください。
2021 年 6 月 16 日付けプレスリリース：https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/1989601/00.pdf

以上

お問い合わせ先
芙蓉総合リース株式会社　コーポレートコミュニケーション室　（担当）山﨑・渡邊
電話番号　03（5275）8891　　URL：https://www.fgl.co.jp/
芙蓉オートリース株式会社　ＥＶビジネス部
電話番号　03（5275）2950　URL：　https://www.fuyoauto.co.jp/